

## 研究業績一覧(2002年1月~2002年12月)

下線のある著者は本学教職員

### I 著書

- 1) 青木康子, 加藤尚美, 平澤美恵子編著: 助産学大系 1~12巻, 日本看護協会出版会第3版1刷, 2002.
- 2) 青木康子, 加藤尚美, 平澤美恵子編著, 園生陽子著: 助産学大系10助産診断・技術学, 出産準備クラス, 日本看護協会出版会第3版1刷, 115-131, 2002.
- 3) Willcox,D.C. : Interwoven Lives: Longevity , Culture and Community Care in the Ryukyu Islands , PhD dissertation ,University of Toronto, Library of Canada Press , 2002 .
- 4) 高野陽, 柳川洋編著, 加藤尚美著: 母子保健マニュアル3刷, 妊産婦の生活と健康増進, 里帰り分娩とその指導, 南山堂 , 36-39 , 42 , 2002 .
- 5) Henry,B. : Community Health Administration Workbook , 初版 (全93ページ), 国際協力事業団 (JICA) , 2002 , 12 .
- 6) 山口栄鉄編訳: 琉球王国の崩壊 - 大動乱期の日中外交戦, 榎樹書林 , 2002. Yamaguchi,E. , Arakawa Y. : Edited with Notes:The Demise of the Ryukyu Kingdom , Western Accounts and Controversy , Yojushorin , 2002.

### II 研究論文

- 1) 赤嶺伊都子, 新城正紀: 地域在住高齢者へのペインマネジメントの導入, 沖縄県立看護大学紀要 , 3 , 25-32 , 2002 .
- 2) 石川りみ子, 上間直子, 金城利香, 仲宗根洋子, 赤嶺伊都子, 前原なおみ, 比嘉かおり, ミヤジマ厚子, 吉川千恵子, 伊藤幸子: 成人保健看護における看護過程演習の臨床実習への学習効果, 沖縄県立看護大学紀要 , 3 , 85-93 , 2002 .
- 3) 上田礼子, 石橋朝紀子: 慢性疾患児のResilienceに関する測定尺度の検討, 先天性心疾患児を中心に, 小児科臨床 , 55(10) , 1985-1991 , 2002 .
- 4) Willcox,D.C. : The dietary habits of the longest-lived women in Japan: A nutritional anthropological approach , University of the Ryukyus , Master's of Health Science Thesis , 2001-2002.
- 5) 上田礼子, 吉川千恵子: 子ども虐待に関するワークショップを開催して 沖縄県立看護大学の試み, 看護教育 , 8 , 686 - 691 , 2002 .
- 6) 薄井坦子, 嘉手効英子, 山本利江, 山岸仁美, 新田なつ子, 寺島久美: 看護基礎教育における教育課程の評価に関する研究 - 分担1 教育課程構築に至る研究過程の分析 , 宮崎県立看護大学紀要 , 3 (1) , 10-17 ,

2002 .

- 7) 薄井坦子, 三瓶真貴子, 山岸仁美, 栗原保子, 小野美奈子, 赤星誠, 阿部恵子, 寺島久美, リウ真田知子, 島川直子, 稲田夏希, 嘉手効英子, 山本利江, 新田なつ子, 中野榮子: 宮崎県立看護大学における教育課程の構築とその評価 , 宮崎県立看護大学紀要 , 3 (1) , 1-9 , 2002 .
- 8) 宇根桐子, 今井昭一: 培養細胞を用いたgap-junctionを介する細胞間情報交換に関する研究 - Scrape-loading法による検討 - , 沖縄県立看護大学紀要 , 3 , 121-127 , 2002 .
- 9) 大嶺千枝子, 仲里幸子, 川崎道子, 神里千鶴子, 与那嶺尚子, 牧内忍: 保健婦駐在の実態から駐在制度の確立に影響した要因を探る , 沖縄県立看護大学紀要 , 3 , 33-44 , 2002 .
- 10) 大嶺千枝子, 仲里幸子: 戦後沖縄における看護教育の特異性に関する研究 - 看護学校と琉球大学の教育提携を中心にして , 日本看護史学会誌 15 , 16-33 , 2002 .
- 11) 大湾明美, 佐久川政吉: 島外の特養入所者が「ふるさと訪問」「竹富町いきいき事業」にかかわって, 看護教育 , 43 (2) : 85-87 , 2002 .
- 12) 大湾明美, 佐久川政吉: 沖縄県の離島における「ふるさと訪問」を実施して, 看護教育 , 43 (8) , 728-731 , 2002 .
- 13) 大湾明美, 小川なお子, 佐久川政吉, 大川嶺子, 下地幸子, 富本傳, 根原憲永: 離島における施設入所者の生きがいづくり ( 第2報 ) - 竹富町出身者の施設入所者の「ふるさと訪問希望調査」の結果から - , 沖縄県公衆衛生学会誌 , 33 , 27-32 , 2002 .
- 14) 岡澄子, 上田礼子: 中年期の親の主観的健康状態と子育て評価 , 沖縄県立看護大学紀要 , 3 , 94-100 , 2002 .
- 15) 岡村純, 金城芳秀: 沖縄県離島におけるPhotovoice の試み 参加型Needs Assessmentとしての応用 , 沖縄県立看護大学紀要 , 3 , 101 - 106 , 2002 .
- 16) 岡村純, 上田礼子, 河田聰子: 中年親の子育て評価と評価にかかる要因 宮古地域と東京都の比較を中心にして , 沖縄の小児保健 , 29 , 15 - 25 , 2002 .
- 17) 河田聰子, 上田礼子: 異文化看護に必要な知識 - 小児看護を中心に - , 沖縄県立看護大学紀要 , 3 , 128-133 , 2002 .
- 18) 金城忍, 山本利江, 野口美和子, 嘉手効英子: 慢性腎不全患者への看護における立場の変換に関する一考察 不全感を残した透析患者との看護過程の分析から , 沖縄県立看護大学紀要 , 3 , 45-56 , 2002 .

- 19) 金城芳秀, 岡村純 : 沖縄県一離島村における手すり取り付けに関するケースメソッド 電気ドリルをもつた新人保健婦 , 沖縄県立看護大学紀要 , 3 , 107 - 113 , 2002 .
- 20) Kinjo,Y. Akiba,S.: Joint intakes of milk , meat and fish and mortality from the six-prefecture cohort study (1966-1981) in Japan. Journal of Okinawa Prefectural College of Nursing , 3: 57-69 , 2002.
- 21) 小橋川久光, 並河裕, 小林稔, 高倉実, 宮城政也 : 児童用日常生活行動尺度の因子構造の検討 , 琉球大学教育学部紀要 , 60 , 59-66 , 2002.
- 22) 小橋川久光, 小林稔, 高倉実, 宮城政也, 砂川武彦 : 沖縄県小学生用メンタルヘルス尺度の検討 , 琉球大学教育学部紀要 , 61 , 17-24 , 2002.
- 23) 小橋川久光, 小林稔, 高倉実, 宮城政也, : 日常生活行動尺度と生活関連要因との関係 , 琉球大学教育学部紀要 , 61 , 25-31 , 2002 .
- 24) 小林稔, 小橋川久光, 宮城政也 : 児童期における運動意欲および運動能力に関する比較研究 - 東京23区内〇小学校における1990年と2000年のデータから - , 九州スポーツ心理学研究 , 14 (1) , 20-22 , 2002 .
- 25) 小林稔, 小橋川久光, 宮城政也, 栗原知子, 横山善美 : 児童期における運動意欲および運動能力の実態に関する比較研究-東京23区内〇小学校における1990年と2000年のデータから - , 琉球大学教育学部教育実践センター紀要 , 9 , 13-21 , 2002 .
- 26) 小林稔, 高倉実, 小橋川久光, 宮城政也, 神谷章平 : 手掌部低周波皮膚電気刺激の心理的效果に関する研究 , 琉球大学教育学部紀要 , 61 , 185-192 , 2002 .
- 27) 佐久川政吉, 大湾明美, 小清水明美, 知花和也, 下地幸子 : 離島における施設入所者の生きがいづくり(第1報) - 離島間の「ふるさと訪問事業」を試みて - , 沖縄県公衆衛生学会誌 , 33 , 24-26 , 2002 .
- 28) 新城正紀, 比嘉桂子, 上原真理子, 比嘉文子, 赤嶺伊都子, 系数公, 譜久山民子 : 救急搬送された小児の事故の実態と予防対策 , 沖縄県立看護大学紀要 , 3 , 1-8 , 2002 .
- 29) 新城正紀, 田中英夫, 喜屋武幸男, 赤嶺伊都子, 新垣満広 : 沖縄県の慢性閉塞性肺疾患(慢性気管支炎・肺気腫・喘息)死亡 - 標準化死亡比による全国との比較 - , 厚生の指標 , 49 (5) , 21-26 , 2002 .
- 30) 新城正紀 : 海洋危険生物による被害の防止と安全対策 , 財団法人沖縄県環境科学センター報 , 4 , 67-71 , 2002 .
- 31) 田場真由美, 當山富士子, 大川嶺子, 仲宗根洋子, 前原なおみ, 上田禮子 : 沖縄県立看護大学における大学院教育の必要性に関する調査(その2) 看護職者を対象に , 第19回沖縄県看護研究会学会講演集 , 108-111 , 2002 .
- 32) Miyakita,T. , Matsui,T. , Ito,A. , Tokuyama,T. , Hira- matsu,K. , Osada,Y. , Yamamoto,T. : Population-based questionnaire survey on health effects of aircraft noise on residents living around U.S. airfields in the ryukyus-Part I: an Analysis of 12 scale scores , Journal of Sound and Vibration , 250 (1) , 129-137 , 2002 .
- 33) 名城一枝, 大田貞子, 金城忍, 横原節子, 嘉手丸英子 : 学生の主体的な学習を支える場としての看護実習室づくり , 沖縄県立看護大学紀要 , 3 , 70-76 , 2002 .
- 34) 並河裕, 小橋川久光, 宮城政也 : 運動の程度がライフスタイル要因に及ぼす影響について - 高経験群と低経験群との比較から - , 琉球大学教育学部紀要 , 60 , 67-75 , 2002 .
- 35) Nishida K. , Watanabe E. , Kinjo R. , Shinjo M. , Nishida E. , Kono S., : Factors contributing to tooth retention among elderly women , Kurume Medical Journal , 49 , 131-142 , 2002.
- 36) Hiramatsu,K. , Matsui,T. , Miyakita,T. , Ito,A. , Tokuyama,T. , Osada,Y. , Yamamoto,T. : Population-based questionnaire survey on health effects of aircraft noise on residents living around U.S. airfields in the Ryukyus-Part : An analysis of the discriminant score and the factor score , Journal of Sound and Vibration , 250(1) , 139-144 , 2002 .
- 37) Henry, B. , 與那嶺敦翻訳 , 上田礼子監訳 : 教育内容の更新を続ける挑戦 ; 看護教育 , 看護展望 , 27 (5) , 100-101 , 2002 .
- 38) Henry, B. : Several principles , strategies , and problems in submitting a scientific paper for publication , Journal of Medical Education (Taiwan) , 6 (1) 4-12 , 2002 .
- 39) 宮城航一, 古閑比佐志 : Quality of lifeからみた再発グリオーマ患者の治療評価 , 沖縄県立看護大学紀要 , 3 , 9-17 , 2002 .
- 40) 宮城政也, 小橋川久光, 小林稔, 並河裕, 高倉実 : 沖縄県児童における精神的健康に関する研究 日常生活要因との関連性について , 沖縄県立看護大学紀要 , 3 , 18-24 , 2002 .
- 41) 宮城政也, 小橋川久光, 小林稔 : 沖縄県児童における精神的健康と日常生活要因の関連性について , 九州スポーツ心理学研究 , 14 (1) , 14-16 , 2002 .
- 42) Yamaguchi,N. , Kinjo,Y. , Utsunomiya,O. : Health effects of passive smoking with special emphasis on lung cancer deaths among non-smokers. Journal of UOEH 24 (Suppl) , 84-90 , 2002.
- 43) Yamaguchi,S. : Inside an Italian Nursing Culture: Work-place Practices and Perceptions. Griffith University Faculty of Nursing and Health Masters' Thesis , 2002.
- 44) 山城桂, 上田礼子, 岡村純, 加藤尚美, 玉城清子:両親の乳児に対する知覚 - 沖縄群と東京都群の比較 , 沖

- 縄県立看護大学紀要 , 3 , 114 - 120 , 2002 .
- 45) 吉川千恵子 , 伊藤幸子 , 前原なみ , 石川りみ子 , ミヤジマ厚子 , 比嘉かおり , 仲宗根洋子 , 金城利香 , 赤嶺伊都子 , 上間直子 : 沖縄県立看護大学の成人保健看護概論の授業展開 第2報 事業所見学に焦点をあてて , 沖縄県立看護大学紀要 , 3 , 77 - 84 , 2002 .
- 46) 与那嶺尚子 , 與古田孝夫 : 地域高齢者の健康度自己評価に関連する要因 , G市T地区ミニデイサービス参加者の実態調査結果より , 沖縄県公衆衛生学会誌 , 33 , 8~12 , 2002 .

### III 学会等発表

- 1 ) 赤嶺伊都子 , 新城正紀 : 地域在住高齢者の健康観と ADL および QOL の関連 , 第12回日本疫学会学術総会 (東京) , 2002 .
- 2 ) 赤嶺伊都子 , 新城正紀 , 田中英夫 : 沖縄県における COPD のリスク要因の検討 その 1 ~ 喫煙行動と COPD 関連症状 ~ , 第67回日本民族衛生学会総会 (東京) , 2002 , 11 .
- 3 ) 安里葉子 : 乳幼児期の事故と応急処置 , 那覇市市民講座 , 2002 , 9 , 10 .
- 4 ) 伊礼優 , 當山富士子 , 田場真由美 , 大川嶺子 : 沖縄県下市町村における精神保健福祉業務導入後の状況 関係職員の不安に焦点をあてて , 第68回日本民族衛生学会 (東京) , 62-63 , 2002 , 11 .
- 5 ) Willcox,D.C. : Lessons in longevity from the world's longest-lived people , Kinser Health Fair , Urasoe City , Okinawa , 2002 , 4 .
- 6 ) Willcox,B.J. , Willcox, D.C. , Suzuki , M. : Built to last? Past medical history of Okinawan-Japanese centenarians , American Geriatrics Society , 2002 , 5 .
- 7 ) Willcox,D.C. ,Willcox , B.J. : Secrets of the world's longest-living people , 2002 VHI Health Care Zest for Life Event , Dublin , Ireland , 2002 , 5 .
- 8 ) Willcox, D.C. , Willcox , B.J. , Suzuki , M. : Public health implications of Okinawan longevity: Are the lessons from Okinawa cross-culturally applicable ? , 第206回日本病院管理学会例会 ; 第14回医療科学研究会 , 第一回人間福祉学会 合同学術会議 , 2002 , 5 .
- 9 ) Willcox,D.C. : Okinawan longevity: The wisdom of the elders , Keynote Lecture 90th Annual Meeting of the U.S.Naval Dental Association , Okinawa , Japan , 2002 , 8 .
- 10) Willcox,D.C. , Todoriki , H.,Willcox , B.J. : Public health policy in post-war Okinawa and the epidemiological transition , 文部省科学研究費 「戦後沖縄における異文化接触の総合的研究 , 浜比嘉リゾート , 2002 .
- 11) Willcox,D.C. : Living to 100: The Okinawa way , Educator 's Day Conference , Kadena , Okinawa , Japan , 2002 , 9 .
- 12) Willcox, D.C. , Willcox , B.J. , Todoriki , H. , Suzuki M. : Evidence-based exceptional longevity: The demography of centenarians in Japan , 22nd Annual Meeting of the Cheju Island Studies Society , Cheju , Korea , 2002 , 11 .
- 13) Willcox, D.C. , Willcox,B.J. , Suzuki , M. : The study of centenarians in Japan , Pacific Health Research Institute Seminar on Longevity , University of Hawaii , Honolulu , USA , 2002 , 11 .
- 14) 上田礼子 , 石橋朝紀子 : 慢性疾患患者の Resilience に関する測定尺度の検討 , 先天性心疾患児を中心に , 第49回日本小児保健学会 (神戸) , 2002 , 10 .
- 15) 上田礼子 : 生涯人間発達の視点から捉えた高齢者の特性と発達的課題 高齢者へのかかわりと配慮すべき点 , 沖縄県作業療法士会講習会 , 沖縄リハビリテーション病院 (沖縄市) , 2002 , 9 .
- 16) 大嶺千枝子 : 看護サービス提供論・地域保健看護活動 , 看護管理者認定講習会 , 沖縄県看護協会 , 2002.8
- 17) 大嶺千枝子 : Case method • Distress of stationing public health nurse to remote island in Okinawa,島嶼地域保健行政コース (技術研修) JICA 沖縄国際センター , 2002 , 2 .
- 18) 大嶺千枝子 : 公衆衛生看護の変遷と活動展開の実際 ポリビア、パラグアイ特設地域保健指導者コース研修会 , 沖縄県看護協会 , 2002 , 3 .
- 19) 大嶺千枝子 , 仲里幸子 , 川崎道子 , 牧内忍 , 吳地祥友里 : 沖縄の保健婦駐在制度の継続を可能にした要因を探る (第一報) , 第34回沖縄県公衆衛生学会 , 2002 , 11 .
- 20) 大湾明美 : シンポジウム「痴呆性老人との共生」 - ばけ介護の最前線情報 - ,(財)ばけ予防協会 , 琉球新報社 , 毎日新聞社主催 , 2002 , 5 .
- 21) 大湾明美 : 日本在宅医学会第4回学術集会 , シンポジウム - 離島・僻地の在宅医療 , 日本在宅医学会主催 , 2002 , 7 .
- 22) 大湾明美 , 佐久川政吉 , 大川嶺子 , 吉川千恵子 , 伊藤幸子 , 村上恭子 , 垣花裕子 : 沖縄県離島における介護保険制度のケアマネジメント方法の実態 - 「島内完結型」と「島外参入型」の特徴 (その2) - , 日本民族衛生学会第30回沖縄地方会 (沖縄) , 2002 , 10 .
- 23) 大湾明美 , 佐久川政吉 , 大川嶺子 , 吉川千恵子 , 伊藤幸子 , 富本傳 , 根原憲永 : 沖縄県有人離島における地域ケアシステム構築に関する研究 (第11報) - 波照間島における住民主体の支援活動3年目の評価と課題 - , 第7回日本老年看護学会学術集会 (神奈川) , 2002 , 11 .
- 24) 大湾明美 , 大川嶺子 , 佐久川政吉 , 吉川千恵子 , 伊藤幸子 , 宮城重二 : 沖縄県有人離島における地域ケアシステム構築に関する研究 (第12報) - 「1島1市町村型」離島の高齢者保健福祉の特徴 - , 第67回日本民

- 族衛生学会総会（東京）, 2002 , 11 .
- 25) 大湾明美, 佐久川政吉, 大川嶺子, 吉川千恵子, 伊藤幸子, 村上恭子, 垣花裕子: 沖縄県離島における介護保険制度のケアマネジメント方法の実態 - 「島内完結型」と「島外参入型」の特徴（その1）-, 第34回沖縄県公衆衛生学会（沖縄）, 2002 , 11 .
- 26) 大川嶺子, 大湾明美, 佐久川政吉, 吉川千恵子, 伊藤幸子: 沖縄県有人離島における地域ケアシステム構築に関する研究（第8報）- 久高島における在宅高齢者の現状と介護意識 -, 日本島嶼学会・2002年次沖縄大会（沖縄）, 2002 , 10 .
- 27) 大川嶺子, 大湾明美, 佐久川政吉, 吉川千恵子, 伊藤幸子, 宮城重二: 沖縄県有人離島における地域ケアシステム構築に関する研究（第13報）- 「本島付隨型」離島の高齢者保健福祉の特徴 -, 第67回日本民族衛生学会総会（東京）, 2002 , 11 .
- 28) 岡澄子, 上田礼子, 中年親の子育て評価と自己概念, 第67回日本民族衛生学会（東京）, 2002 , 11 .
- 29) 岡澄子, 上田礼子, 河田聰子: 成人初期リスク・スクリーニングと支援（第2報）, 第67回日本民族衛生学会（東京）, 2002 , 11 .
- 30) 岡村純: 男女がともに築く豊かな農山漁村 女性集団への支援手法の視点から , 農山漁村における男女共同参画研修会(石垣), 2002 , 11 .
- 31) 尾形由紀子, 川南勝彦, 篠輪眞澄, 坂田清美, 新城正紀, 永井正規: 難病患者の地域ベース・コーホート研究 パーキンソン病患者を中心に , 第61回日本公衆衛生学会総会（埼玉）, 2002 . 10
- 32) 神里千鶴子, 仲里幸子, 大嶺千枝子, 川崎道子, 牧内忍, 与那嶺尚子: 離島における乳幼児を持つ母親の子育てに関する現状と支援のあり方 , 第5回日本地域看護学会(高知), 2002 , 6 .
- 33) 賀数いづみ, 玉城清子, 井上松代, 西平朋子, 加藤尚美: 助産師の継続教育に関する調査 - 希望する継続教育内容の分析 -, 第43回 日本母性衛生学会（旭川）, 2002 , 9 .
- 34) 川崎道子: 在宅看護の基礎知識、ホームヘルパー養成2級講座、医療法人白寿会, 2002.6
- 35) 川崎道子, 仲里幸子, 大嶺千枝子, 神里千鶴子, 牧内忍, 与那嶺尚子: 離島住民の生活習慣と主観的健康感との関連 , 第5回日本地域看護学会（高知）, 2002.6
- 36) 河田聰子, 上田礼子: 文化間看護に必要な知識 - 小児保健看護分野の文献検討 -, 沖縄小児保健学会（沖縄）, 2002 , 5 .
- 37) 北村弥生, 上田礼子: 慢性疾患小児の同胞の自己概念と意識 - 血液疾患群, 神経疾患群の比較 - 第55回日本保育学会（東京）, 2002 , 5 .
- 38) 北村弥生, 上田礼子, 施設入所盲ろう者をもつ同胞の自己概念と彼らに対する同胞の意識 , 第15回日本健康心理学会（東京）, 2002 , 10 .
- 39) 金城絹子, 石川りみ子, 饒辺聖子, 伊芸美代子, 島田みづ子, 上江洲榮子: 看護学生の睡眠と健康に関する調査 - 全日制と定時制との比較 - 第2報 , 第34回沖縄県公衆衛生学会（宜野湾市）, 2002 , 11 .
- 40) Kinjo,Y. , Akiba,S. , Mizuno,S. : Joint intakes of animal fat and protein for mortality in the six-prefecture cohort study , Japan. XVIth IEA World Congress of Epidemiology (Montreal). August 18-22 , 2002.
- 41) 金城芳秀, 宮里 肇, 秋葉澄伯, 山口直人, 宮本久喜三: 顔面のシミ, シワと紫外線関連の皮膚疾患に関する症例対照研究. 第61回日本公衆衛生学会総会（埼玉）, 2002 , 10 .
- 42) 小橋川久光, 小林稔, 宮城政也: 「日常生活行動尺度と生活関連要因との関連」第25回沖縄心理学会（琉球大学）, 2002 , 3 .
- 43) 小橋川久光, 高倉実, 小林稔, 宮城政也: 「児童用メンタルヘルス尺度の検討 沖縄県児童を対象に-」九州体育・スポーツ学会第51回大会（沖縄県立看護大学）2002 , 9 .
- 44) 小林稔, 小橋川久光, 宮城政也: 「児童期における運動意欲及び運動能力に関する比較研究-東京23区内〇小学校における1990年と2000年のデータから」九州スポーツ心理学会第15回大会（九州大学）, 2002 , 3 .
- 45) 佐久川政吉, 大湾明美, 大川嶺子, 下地幸子: 離島における施設入所高齢者の生きがいづくり（第4報）- 要介護高齢者が沖縄本島から小浜島にふるさと訪問した事例 -, 日本島嶼学会・2002年次沖縄大会（沖縄）, 2002 , 10 .
- 46) 佐久川政吉, 村上恭子, 大川嶺子, 大湾明美, 吉川千恵子, 伊藤幸子: 沖縄県有人離島における地域ケアシステム構築に関する研究（第10報）- 波照間島における介護保険開始後2年間の在宅要介護高齢者の実態 -, 第7回日本老年看護学会学術集会（神奈川）, 2002 , 11 .
- 47) 佐久川政吉, 大湾明美, 大川嶺子: 離島における施設入所高齢者の生きがいづくり（第5報）- 「ふるさと訪問」における家族の役割について -, 第22回日本看護科学学会学術集会（東京）, 2002 , 12 .
- 48) 白川園子, 広瀬たい子, 岡光基子, 鎌田雅子, 上田礼子: 新生児期における母親の子どもの行動の見方と3才児のNCASTSによる母子の相互作用との関連についての検討 , 第12回日本乳児医学心理学会（東京）, 2002 , 11 .
- 49) Shinjo,M. , Akamine,I. , Tanaka,H. : Effective anti-smoking education based on scientific evidence , 4 th Asia -Pacific Conference on Problem-Based Learning ( Hat Yai , Songkhla , Thailand ) , 2002 , 12.
- 50) Shinjo M. , Tanaka H. , Akamine I. : Mortality from COPD and asthma in Okinawa , Japan , Second Forum on Respiratory Tract Infections (Monte-Carlo ), 2002 , 2.

- 51) 新城正紀, 田中英夫, 赤嶺伊都子: 沖縄における慢性閉塞性肺疾患による死亡に関する疫学, 第12回日本疫学会学術総会(東京), 2002, 1.
- 52) 新城正紀, 赤嶺伊都子, 田中英夫: 中高年齢者の喫煙行動と喫煙に対する意識からみた喫煙対策の在り方, 第61回日本公衆衛生学会総会(埼玉), 2002, 10.
- 53) 新城正紀, 赤嶺伊都子, 田中英夫: 沖縄県におけるCOPDのリスク要因の検討 その2 ~喫煙行動とタバコの銘柄~, 第67回日本民族衛生学会総会(東京), 2002, 11.
- 54) 田場真由美, 當山富士子, 大川嶺子, 仲宗根洋子, 前原なおみ, 上田禮子: 沖縄県立看護大学における大学院教育の必要性に関する調査(その2) 看護職者を対象に, 第19回沖縄県看護研究会学会, 2002, 2.
- 55) 玉城政, 桃原けい子, 鈴木信, 比嘉かおり, Willcox,D.C., 等々力英美: 沖縄県在宅百寿者の健康長寿の要因に関する社会学的研究 ADLと性格について, 第206回日本病院管理学会例会; 第14回医療科学研究会・第一回人間福祉学会 合同学術会議, 2002, 5.
- 56) Tamashiro,H. , Kinjo,Y. , Sakamoto,M.:Lessons learnt from Minamata disease An epidemiological perspective. 10th International Conference on the Combined Effects of Environmental Factors (Osaka), August 28-31 , 2002.
- 57) 玉城清子, 加藤尚美, 賀数いづみ, 井上松代, 西平朋子: 助産婦の継続教育に関する意識, 第16回日本助産学会学術集会(東京), 2002, 3.
- 58) 玉城清子, 加藤尚美: Survey on Supply and Demand of Midwives in Japan, 第26回国際助産師連盟(ICM)大会(ウィーン), 2002, 4.
- 59) 玉城清子, 加藤尚美, 賀数いづみ, 井上松代, 西平朋子: 助産師の需給に関する調査, 第43回日本母性衛生学会(旭川), 2002, 9.
- 60) 玉城清子, 加藤尚美, 上田礼子: マターナル・アタッチメントとそれに関連する変数, 第67回日本民族衛生学会(東京), 2002, 11.
- 61) Todoriki,H. , Willcox,D.C. , Kinjo, Y. , Takakura,M. , Sasaki,S. : The nutrition transition in post-war Okinawa: Changes in body weight and fat intake, The IEA XVI World Congress of Epidemiology, Montreal, Canada, 2002, 8.
- 62) 等々力英美, Willcox D.C. , 金城芳秀, 高倉実, 佐々木敏, 有泉誠: 戦後沖縄における栄養転換 脂質摂取変化と体重変動, 第67回日本民族衛生学会(東京), 2002, 11.
- 63) 仲里幸子: 復帰前・沖縄の公衆衛生看護師育成について、国際集団研修・地域保健指導者コース、JICA沖縄国際センター, 2002, 6
- 64) 仲里幸子, 大嶺千枝子: 沖縄におけるOperation Florence Nightingaleの計画実施について, 日本看護史学会, 第16回大会(山形), 2002, 8.
- 65) 仲里幸子, 大嶺千枝子, 川崎道子: 沖縄におけるハンセン病患者の在宅管理と保健師活動, 第22回日本看護科学学会(東京), 2002, 12.
- 66) 仲宗根洋子, 伊藤幸子, 島袋美佐子, 仲宗根昇: 看護婦の手及び鼻腔での薬剤耐性菌の保有状況 新手法による調査の試みー, 第17回日本環境感染学会(大阪), 92, 2002.
- 67) 西平朋子, 井上松代, 園生陽子, 玉城清子, 賀数いづみ, 加藤尚美, 喜舎場直美: 高校生の性行動に影響を及ぼす要因, 第21回日本思春期学会総会学術集会(金沢), 2002, 8.
- 68) 比嘉かおり, 比嘉恵枝: 沖縄県における退院時看護要約の作成と利用に関する実態調査 九州北部地方との比較, 日本病院管理学会第206回例会(第14回医療科学研究会, 第1回人間祉学会共催), 2002, 5.
- 69) Henry,B. : Health systems analysis in small Pacific Island Nations, JICA島嶼地域保健行政コース(沖縄), 2002, 1.
- 70) Henry,B. : Research training for quality improvement, 沖縄看大開学3周年記念会(沖縄), 2002, 5.
- 71) Henry,B. : Nursing higher education and research for international health development, 国連大学高等研究所(東京), 2002, 5.
- 72) Henry,B. : Instruction in nursing education, 平成14年度看護教員再教育研修会(沖縄), 2002, 6.
- 73) Henry,B. : Nursing management and leadership in the health services for nurses, 東京医科歯科大学(東京), 2002, 6.
- 74) Henry,B. : Internationalizing nursing education, 第7回日本看護サミット(沖縄), 2002, 10.
- 75) Henry,B. : Education for nursing leadership, 沖縄看大シンポジウム; 21世紀のナーシングリーダーシップ(沖縄), 2002, 11.
- 76) Henry,B. : Introducing problem-based learning to undergraduate nursing students and faculty in Okinawa, Japan, The 3rd Asia-Pacific Conference on Problem-Based Learning (PBL) in Health Sciences (Taipei), 2002, 11.
- 77) Henry,B. : Problem-based learning for nursing and medicine. Tzu Chi University (Hualein, Taiwan), 2002, 11.
- 78) 前原なおみ, 當山富士子, 大川嶺子, 仲宗根洋子, 田場真由美, 上田禮子: 沖縄県立看護大学における大学院教育の必要性に関する調査(その2)-保健医療等の関係施設の管理職者を対象に-, 第19回沖縄県看護研究会学会, 2002, 2.
- 79) 箕輪眞澄, 川南勝彦, 坂田清美, 新城正紀, 永井正規: 2年後の追跡状況の総括 難病患者の地域ベース・コホート研究, 第61回日本公衆衛生学会総会

(埼玉), 2002, 10.

- 80) 宮城航一：看護の基礎と医のサイエンス 理性的看護を考える，沖縄県看護協会研修 プログラム講演（南風原），2002, 2.
- 81) 宮城航一：生命操作とキリスト信仰，沖縄宣教研究協議会主催・いま「いのち」を考える講演会（浦添市），2002, 3.
- 82) 宮城航一，伊藤幸子，玉城百代：ホスピスピランティア講座（連続10回の講座），沖縄県立看護大学病態生理学教室・成人看護学教室・ホスピスを考える会主催（那覇），2002, 9~10.
- 83) 宮城政也，小橋川久光，小林稔：沖縄県児童における精神的健康と日常生活要因との関連性について，九州スポーツ心理学会第15回大会（九州大学），2002, 3.
- 84) 宮城政也，小橋川久光，小林稔：沖縄県児童におけるメンタルヘルスと生活関連要因について，第25回沖縄心理学会（琉球大学），2002, 3.
- 85) 宮城政也，小橋川久光，小林稔，高倉実：児童における体力・運動意欲と日常生活要因について，九州体育・スポーツ学会第51回大会（沖縄県立看護大学），2002, 9.
- 86) 宮城政也：運動とメンタルヘルス，文部科学省，沖縄県教育委員会主催，平成14年度スポーツ活動指導者講習会（那覇市），2002, 6.
- 87) 宮城政也：少年期の運動とメンタルヘルス - メンタルトレーニングを考える - , 今帰仁村体験活動ボランティア支援センター，今帰仁村教育委員会主催，スポーツ活動指導者研修会（今帰仁村），2002, 12.
- 88) 西平朋子，井上松代，園生陽子，玉城清子，賀数いづみ，加藤尚美，喜舎場直美：高校生の性行動に影響を及ぼす要因，第21回 日本思春期学会総会学術集会（金沢），2002, 8.
- 89) 山口栄鉄：England, New England; London, New London...，語学センター英語同時通訳講座定期講演，2002, 9.
- 90) 山口栄鉄：ガゼット紙論説の琉球処分批判，第183回国學院大學梧陰文庫研究会ミニシンポジウム（東京）2002, 10.
- 91) 山口栄鉄 大学と人生、名桜大学 連続講座、2002, 6.
- 92) 山城桂，上田礼子：養育行動の変化 - 就寝形態（添い寝）に関する研究 - , 沖縄小児保健学会（沖縄），2002, 5.
- 93) 山城桂，上田礼子：乳児の能力に対する父母の認知について，第67回民族衛生学会（東京），2002, 11.
- 94) 山城桂，上田礼子：母親の乳児の能力に対する知覚，第34回沖縄公衆衛生学会，2002, 11.
- 95) 与那嶺尚子，上田礼子，河田聰子，吳地祥友里：市町村保健師の「子どもへの不適切な関わり（マルトリ

ートメント）」に対する認識，第34回沖縄公衆衛生学会，2002, 11.

- 96) 銀辺聖子，石川りみ子，金城絹子，伊芸美代子，島田みつ子，上江洲榮子：看護学生の食習慣・睡眠習慣と健康に関する調査 - 全日制と定時制との比較 - 第3報，第34回沖縄公衆衛生学会（宜野湾市），2002, 11.
- 97) Reiko Ueda, Masaki Shinjo, Chieko Yoshikawa, Beverly Henry : Students' Active Participation to the Workshop Held for Community People, 4th Asia-Pacific Conference on Problem-Based Learning ( Hat Yai, Songkhla, Thailand ), 2002, 12.

#### IV その他

- 1) 赤嶺伊都子：高齢者のQOL向上をめざしたブリード/プロシードモデルによる地域・行政活動，平成12年度～平成13年度科学研究費補助金（奨励研究（A））研究成果報告書，1-108, 2002, 3.
- 2) 石川清治，稻福恭雄，糸数健，加藤尚美，仲里幸子他（健やか親子おきなわ2010策定委員），いのちはぐくむ健やか親子おきなわ2010，沖縄県福祉保健部健康増進課，2002, 3.
- 3) Willcox, D.C., Willcox, B.J. : The secrets of the longest living people in the world , VHI Health Care Magazine , 4-18 , 2002 , 4 .
- 4) 大湾明美，佐久川政吉，大川嶺子，吉川千恵子，伊藤幸子，村上恭子，垣花裕子：離島における介護保険制度のケアマネジメント方法の有効性に関する研究 - 「島内完結型」と「島外参入型」の比較 - , 第12回財団法人フランズベッド・メディカルホームケア財団研究助成・事業報告書 , 188-210 , 2002 , 9 .
- 5) 大湾明美：沖縄の島々の介護事情 - 28島の介護サービス実態 - , 福祉情報おきなわ , 85 , 2 , 2002 , 8 .
- 6) 大湾明美：沖縄の島々の介護事情 - 住民参加によるニーズ解決に向けた波照間島の取り組み - , 福祉情報おきなわ , 86 , 6 , 2002 , 10 .
- 7) 佐久川政吉，長嶺由樹子，池間悦子：チャンブルーな沖縄県支部の紹介，コンチネンスナウ , 11(8), 8-10 , 2002 , 8 .
- 8) 島尻貞子，宮城万里子，大嶺ふじ子，加藤尚美，園生陽子：助産師必要数の検討，平成13年度 事業活動報告書 全国助産婦教育協議会 , 8-14 , 2002 , 5 .
- 9) 園生陽子：“助産サービス”とは？，助産師 , 56(1), 6-8 , 2002 , 2 .
- 10) 平良健康（監督），小川寿美子（編集責任者），与那原節子，仲里幸子，大嶺千枝子，新里厚子，金城英子，福盛久子：保健医療分野の視聴覚教材ビデオ作成，沖縄の公衆衛生看護婦の歴史JICA沖縄国際センター , 2002 , 1 .
- 11) 玉城清子：海外文献紹介： Kangaroo(skin to

- skin) care with a postpartum woman who felt depressed. ("The American Journal of Maternal / Child Nursing" 2001, 7-8.掲載), 助産師, 56(1), 42, 2002, 2.
- 12) 玉城清子: 海外文献紹介: Enduring Effects of Nursing Home Visitation on Maternal Life Course A 3-Year Follow-up of a Randomized Trial ("JAMA", 283(15), 2000, 4.掲載), 助産師, 56(4), 32-33, 2002, 11.
- 13) 渡久山朝裕: やりがいのあるボランティア電話相談員, 沖縄タイムス, 5, 2002, 4, 12.
- 14) 渡久山朝裕: 心理学領域, 教育・研究分野の紹介, 沖縄県立看護大学広報誌 かせかけ, 3, 2002, 12.
- 15) 西平朋子: 学会参加報告: 第21回日本思春期学会総会学术集会 「IT社会と思春期」, 助産師, 56(4), 34-35, 2002, 11.
- 16) Hannah K.J., Ball M.J., Edwards M.J.A.: Introduction to nursing informatics, 法橋尚宏, 柳田洋一郎, 伊藤幸子, 他訳: 看護情報学への招待, 中山書店, 2002.
- 17) 平澤美恵子, 江角二三子, 園生陽子, 堀内成子, 松岡恵, 村上睦子, 谷津祐子: 日本助産学会 業務・教育委員会報告「施設が妊娠婦に示すケア(サービス)内容」no.1妊娠期(その1), ペリネイタルケア, 21(9), 2002, 9.
- 18) 平澤美恵子, 江角二三子, 園生陽子, 堀内成子, 松岡恵, 村上睦子, 谷津祐子: 日本助産学会 業務・教育委員会報告「施設が妊娠婦に示すケア(サービス)内容」no.2妊娠期(その2), ペリネイタルケア, 21(10), 2002, 10.
- 19) 平澤美恵子, 江角二三子, 園生陽子, 堀内成子, 松岡恵, 村上睦子, 谷津祐子: 日本助産学会 業務・教育委員会報告「施設が妊娠婦に示すケア(サービス)内容」no.3分娩期, ペリネイタルケア, 21(11), 2002, 11.
- 20) 平澤美恵子, 江角二三子, 園生陽子, 堀内成子, 松岡恵, 村上睦子, 谷津祐子: 日本助産学会 業務・教育委員会報告「施設が妊娠婦に示すケア(サービス)内容」no.4産褥期, ペリネイタルケア, 21(12), 2002, 12.
- 21) Henry, B., 與那嶺敦翻訳: 国際健康開発のための高等看護教育および看護研究, 沖縄県立看護大学広報誌 かせかけ, 3, 2002, 12.
- 22) Henry, B.(編集者): 看護教育における英文ジャーナルからの論文の活用, 沖縄県立看護大学シンセサイザー, 1(1), 2002.
- 23) Henry, B.(編集者): 学士・修士課程の看護学生のコンピテンシー, 沖縄県立看護大学シンセサイザー, 1(2), 2002.
- 24) 宮城政也: 「メンタルトレーニングにおける現在の問題点とわが国の資格制度について」平成13年度スポーツ医・科学委員会会報, スポーツ科学部会活動報告, 19-20, 2002.
- 25) 宮城雅也, 小渡有明, 玉那霸栄一, 仲里幸子他(乳幼児健康診査作成委員会): 平成13年度乳幼児健康診査報告書,(社)沖縄県小児保健協会, 2002, 8.
- 26) 山口栄鉄: 生きた英語教育で成果あげる英語センター~ABCから言語理論まで~, 今日の琉球, 1967, 4.再録, 那覇市史~戦後の社会・文化1, 資料編, 3(2), 486-490, 2002, 3.

## 学内共同研究（平成14年度）

1. Research training at OPCN to assess, improve, and evaluate the quality of care : An action project for course content and faculty development ケアの質を査定、改善、評価するための沖縄県立看護大学における研究教育：講義内容・教員能力の開発のためのアクション・プロジェクト  
研究代表者：Beverly M Henry  
共同研究者：大嶺千枝子、玉城清子、大川嶺子、河田聰子
2. 入学試験別および入学試験成績と入学後の学内成績との関連に関する研究  
研究代表者：渡久山朝裕  
共同研究者：加藤尚美
3. 沖縄県の離島におけるテレナーシング技術開発に関する研究～久米島をモデルとして～  
研究代表者：吉川千恵子  
共同研究者：Beverly M Henry、金城芳秀、比嘉かおり、伊藤幸子
4. 低出生体重児の出生要因とその後の成長発達に関する研究  
研究代表者：賀数いづみ  
共同研究者：安里葉子
5. 渡嘉敷村における「健やか親子支援地域ネットワークづくり」の基盤整備に関する研究  
研究代表者：川崎道子  
共同研究者：仲里幸子、大嶺千枝子、牧内忍、与那嶺尚子、金城芳秀、岡村純

## 公開講演会および公開講座

### 1. 公開講演会

第7回公開講演会 児童虐待ワークショップ2002

2002年2月2日（土）

Part 1 講演会

安次嶺 韶（県立中部病院副院長）

沖縄における児童虐待

宮里 明美（県立コザ保健所保健婦）

看護からみた児童虐待

比嘉 佑一郎（県立中央児童相談所長）

児童虐待と児童相談

金城 成子（那覇市立大名保育所長）

保育所と児童虐待

Part 2 児童虐待と看護教育：アクションプラン

藤村真弓、伊藤幸子、仲里幸子、加藤尚美、大川嶺子  
(沖縄県立看護大学)

第8回OPCN開学記念3周年記念会

2002年5月11日（土）

パネルディスカッション形式による発表

Beverly M Henry（沖縄県立看護大学）「Research Training for Quality Improvement」  
(質向上のための研究教育)

### 2. 連続公開講座（6回連続）

2002.9.18 ~ 2003.2.5

テーマ「沖縄諸島における生活と健康」

第1回「沖縄における妊娠・出産・子育て」

講師：玉城清子（本学母性保健看護講師）

第2回「沖縄A島における精神保健相談」

講師：當山富士子（本学精神保健看護教授）

第3回「沖縄における生活習慣病の予防」

講師：吉川千恵子（本学成人保健看護助教授）

第4回「粟国・古宇利島における高齢者の暮らし」

講師：金城芳秀（本学 情報科学系 助教授）

岡村純（本学 保健社会学系 講師）

第5回「アジアの中の沖縄～そのメンタリティー」

講師：山口栄鉄（本学外国語教授）

第6回 パネルディスカッション

「沖縄における健康づくりの課題」

パネリスト：平良健康（公立久米島病院院长）

譜久山民子（中央保健所次長）

# 沖縄県立看護大学紀要投稿規程（2003.1改訂）

## 1. 投稿者の資格

紀要投稿者は、原則として本学の教職員（旧教職員を含む）、非常勤講師及び紀要編集委員会（以下、委員会）が執筆を依頼した者とする。筆頭著者は原則として投稿資格を有する者とする。投稿資格を有する者は学外の研究者を連名投稿者にすることができる。

## 2. 投稿の種類

原稿の種類は論壇、総説、原著、報告、研究ノート、資料、その他であり、未公刊のものに限る。また著書は原稿にその何れかを明記しなければならない。なお、投稿原稿は返却しない。

## 3. 原稿の採否

原稿の採否は委員会により決定する。原稿は委員会委員ならびに委員会より委任された者によって査読され、内容の加除、訂正を求められることがある。また倫理上問題があると委員会が判断した原稿は受理されない。

## 4. 校正

投稿者による校正は再校までとし、校正に際して原文の変更あるいは追加は原則として認めない。

## 5. 原稿作成上の留意点

1) 原稿は和文または英文とする。原稿（本文、図、表、写真などすべて）は正1部、副（コピー）1部と、原稿を保存した3.5インチフロッピーディスク（保存形式を明記）を添付して提出する。

2) 原稿はA4版にて和文40字（全角）×30行、英文80字（半角）×30行を1枚とする。和文の場合であっても、英数字、度量衡の単位、外国人名はすべて半角文字（1バイト、ASC II コード）に統一する。例えば、m<sup>2</sup>、kgなど機種に依存する特殊記号は使用しない。また、カタカナは必ず全角文字（2バイト）とし、半角文字（1バイト）では表記しない。すなわち、「ナス」ではなく「ナース」である。イタリック体、ギリシャ文字など特別な字体、記号はそのつど明瞭に指定する。

3) 投稿論文の種類（制限枚数：図表は1点、0.5枚として数える）

論壇 Sounding Board（2枚）：本学の教育、保健看護領域に関わる話題のうち、議論が交わされつつあるものについて今後の方向性を指し示すような著述や提言。

総説 Review Article（20枚）：とりあげた主題に

ついて、内外の諸研究を幅広く概観し、その主題についてのこれまでの動向、進歩を示し、今後の方向を展望したもの。

原著 Original Article（20枚）：テーマが明確で独創性に富み、新しい知見や理解が論理的に示されているもの。研究論文として形式が整い、研究としての意義が認められるもの。

報告 Report（10枚）には次にものが含まれる。

（1）調査報告：調査・実験などで得られたデータをまとめ、本学の教育、保健看護領域の発展に寄与するもの。

（2）事例報告：事例を用いた分析が保健看護領域の展開に寄与するもの。

（3）実践報告：保健看護領域の臨床、ないし教育に関する手技・技術や実践の方法に関するもの。

研究ノート Research Note（10枚）：萌芽的研究、追試的研究、研究情報（文献レビューもこれに含める）など。

資料 Sources/Information：調査・実践などで得られたデータや資料そのものに利用価値をもち、とくに仮説検定の意図をもたずに示したもの。

その他 Other：上記のカテゴリーに分類することが難しいが、委員会により掲載が妥当と認めたもの。

4) 図、表および写真は、図1、表1、写真1などの番号で区別し、本文とは別に一括する。

## 5) 文献の記載

本文中に引用した順に番号を付し、本文の引用個所の肩に1）、1～4）など番号で示し、本文原稿の最後に一括して引用番号順に列記する。

## 6) 文献書誌事項の順序

雑誌…著者名：表題名、雑誌名、巻(号)頁、西暦年次。  
例) 天野洋子・上田礼子・桜井あや子・安里洋子：中学生の対処行動に関する研究 - 悩みや困ったことのある場合 -, 沖縄県立看護大学紀要, 1(1), 1-8, 2000.

例) Imai S, Nakazawa M and Toyosato A: Effects of Rp-8-Br-cGMP, a selective inhibitor of activation of cyclic GMP-dependent protein kinase by cyclic GMP, on relation of the rat aortic smooth muscle induced by nitroglycerin and nitroprusside. Journal of Okinawa Prefectural College of Nursing, 1(1), 23-27, 2000.

単行本…編集者名：書名(版)頁、発行所、西暦年次。

例) 上田礼子編：ライフサイクルと保健活動の実践 - 周産期・乳児期・小児期 -, 184-186, 出版科学研究所, 1985 .

例) Pope C and Mays N eds.: Qualitative research in health care(2nd), 59-74, BMJbooks, 2000.

訳本… 原著者名：書名(版)発行年次, 訳者名, 書名, 頁, 発行所, 西暦年次 .

例) Bailar JC , Mosteller F eds.: Medical uses of statistics, 1986, 津谷喜一郎・折笠秀樹監訳, 医学統計学の活用, 125-141, サイエンティスト社, 1995 .

7 ) 原著論文の本文構成は、 I 緒言(Introduction)、 II 研究方法(Materials and Methods)、 III 結果(Results)、 IV 考察(Discussion)、 V 結論(Conclusion)、 謝辞(Acknowledgments)、 文献(References)とする。また II あるいは III で階層的に段落を記述する場合、段落番号は、 1.2.3…… とし、 1. をさらに細分する場合は 1 ) 2 ) 3 ) …… とする。

8 ) 投稿原稿には英文(300語程度)および和文(600字程度)抄録が必要である。ただし、論壇は除く。抄録は表題、著者名、所属、キーワード(5個以内)、抄録本文とする。抄録本文(Abstract)は背景(Background)、目的(Objective)、研究デザイン(Design)、対象(Subjects)、結果(Results)、結論(Conclusion)などが分かるように簡潔にまとめる。

9 ) 掲載論文の条件

人および動物を研究対象とする場合は、研究対象に対する倫理的配慮がなされ、そのことを論文中に明記すること。

10 ) なお投稿論文は電子情報開示されることを了解の上寄稿することを条件とする。

6. 諸経費について

別途定める。

## 編 集 後 記

本学も完成年度を迎え、初めての卒業生を送り出すこの時期に紀要第4号を発行することができました。今回の号にも教員の皆様から多くの分野の論文が寄せられ、皆様の熱意に感謝しております。紀要の号を重ねるにつれ、投稿論文の種類等について学内での統一した見解を求められるようになってきました。そのため、今回の号から投稿論文の種類について、より詳細な定義づけをと投稿規定の改訂を試みました。それと共に投稿規定を紀要上に掲載することとした。

今年度、教員は4年次学生の卒業論文への取り組みに関わり、個々の学生が抱える多様なテーマの研究を指導していました。そうした教員の論文や研究への姿勢は、身近にいる学生達にとって良きモデルともなります。また、本学でも大学院の設置に向けた動きが始まっています。今後とも、多様な分野から質の高い論文が寄せられることを期待しております。

紀要編集委員会  
編集長 園生 陽子

## 紀要編集委員会

委員長 山口 栄鉄  
編集長 園生 陽子  
渡久山 朝裕  
川崎 道子  
宮城 航一  
Craig D. Willcox  
松島 良子  
特別賛助 牧内 忍  
井上 松代

## **沖縄県立看護大学紀要第4号**

**発行日 平成15年3月**

**発行者 沖縄県立看護大学**

〒902-0076 沖縄県那覇市与儀1-24-1

Tel : 098-833-8800

Fax : 098-833-5133

**印 刷 協業組合 丸正印刷**

〒903-0211 沖縄県西原町小那覇1215番地

Tel : 098-835-8181